

同志社大学英文学会

2017年度年次大会および総会



日時 / 10月29日(日) 13:00~17:30

場所 / 同志社大学今出川校地 明德館1番教室・ラウンジ

受付 / 12:30~(明德館ラウンジ入口)

開会の辞 (13:00~13:10)

会長 圓月勝博

年次大会【明德館1番教室】

●研究発表1 (13:10~13:50)

魂の迷い道—C.S.ルイスの*The Pilgrim's Regress*におけるファシズムの寓意

同志社大学大学院 博士課程後期1年生 野田 ゆり子

司会 斉藤 延喜

●研究発表2 (13:50~14:30)

Memory in Kazuo Ishiguro's *The Unconsoled*

同志社大学大学院 博士課程後期2年生 葛 楠

司会 金津 和美

—— 休憩 (30分) ラウンジにて 茶菓提供 ——

●講演 (15:00~16:30)

理想のリスニングとは? 文学系からの提案 (おまけ: 四技能推進論批判)

東京大学 阿部 公彦

司会 圓月勝博

総会 (16:30~17:30)【明德館1番教室】

会計報告

諸報告

閉会の辞

司会 勝山 貴之

大会準備委員長 川島 健

懇親会 (18:00~20:00)

会場: カーサビアンカ (同志社大学正門から東へ約500m) Tel. 075-241-3023

会費: 非学生会員 7,000円 学生会員 5,000円

司会 玉井 史絵

講演者紹介—阿部 公彦 (あべ まさひこ)

1966年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科・文学部准教授。東京大学文学部卒、同修士をへて、ケンブリッジ大学でPhD取得(1997年、*Wallace Stevens and the Aesthetic of Boredom*)。1993年帝京大学専任講師などを経て現職。

著作多数。『英詩のわかり方』(研究社、2007年)、『スローモーション考—残像に秘められた文化』(南雲堂、2008年)、『英語文章読本』(研究社、2010年)、『小説的思考のススメ—「気になる部分」だらけの日本文学』(東京大学出版会、2012年)、『文学を〈凝視する〉』(岩波書店、2012年)、『詩的思考のめざめ—心と言葉にほんとうは起きていること』(東京大学出版会、2014年)、『英語的思考を読む—英語文章読本II』(研究社、2014年)、『善意と悪意の英文学史—語り手は読者をどのように愛してきたか』(東京大学出版会、2015年)、『幼さという戦略—「かわいい」と成熟の物語作法』(朝日選書、2015年)

1998年 早稲田文学新人賞受賞(「荒れ野に行く」)

2013年 サントリー学芸賞(『文学を〈凝視する〉』)

○懇親会の出欠のお返事は10月11日(水)までをお願いいたします。懇親会費は当日会場でお支払いください。

○今年度の英文学会費年額5,000円を未納の方は同封の振替用紙でお納めください。納入された方には発行され次第刊行物をお送りいたします。

○学会のホームページ (<http://els.doshisha.ac.jp/>) もご参照ください。

問い合わせ・連絡先 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入ル 同志社大学文学部内、同志社大学英文学会事務局 (Tel. 075-251-3740)

